Japan Healthcare
Business Contest
2021
Healthcare
ジャパン・ヘルスケア
ビジネスコンテスト2021
2021年1月28日（木）
大手町三井ホール
主催:経済産業省
協力:厚生労働省

Healthcare

ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト2021

2021年1月28日（木） 大手町三井ホール

Japan Healthcare Business Contest 2021

挨拶文 Message

我が国は、世界に先駆けて超高齢社会に突入し、社会保障費の増加や、生活習慣病や認知症の患者数の増加、医療格差、介護施設または人材の不足等の社会的な課題が現実となっており、それらの課題を解決し、国民の健康に対する多様なニーズに対応する新たなヘルスケア産業の継続的な創出と発展が必要となっています。経済産業省では、ファンドや民間事業者等の『サポート団体』や『連携イベント』等と有機的なネットワークを構築し、それらとの連携によって事業創出に必要な資金供給や優良事例の顕彰等を行うことでヘルスケア分野におけるエコシステムを構築することを目的として、「ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト」を開催してきました。本コンテストを通して、ベンチャー企業等の自立的かつ持続的な成長を促すことに加えて、ヘルスケア産業の大きな潮流を生み出すことを目指します。本コンテストにおいて、本年度より新たな取組として、『アイデアコンテスト』を実施します。医療・介護の現場等で生まれたアイデアの発掘や、専門職や学生等への新規参入の機会の提供を通して、将来、課題解決型ビジネスの担い手としてヘルスケア業界で活躍するプレイヤーを増やすことを目指します。

経済産業省 商務・サービスグループヘルスケア産業課

インデックス Index

ご挨拶・インデックス ―― P 01
イベントプログラム ―― P 02

アイデアコンテスト部門
- ファイナリスト 事業内容概要 ―― P 03
- セミファイナリスト ―― P 08

ビジネスコンテスト部門
- ファイナリスト 事業内容概要 ―― P 09
- セミファイナリスト ―― P 15

審査員 ―― P 16
サポート団体 ―― P 18
連携イベント ―― P 27
協力団体 ―― P 28
過去ファイナリストからのメッセージ ―― P 29
Healthcare Innovation Hubについて ―― P 31

Healthcare
ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト2021
2021年1月28日(木) 大手町三井ホール

Japan Healthcare Business Contest 2021

イベントプログラム
Event Program

オープニング ―― 13:00〜13:05

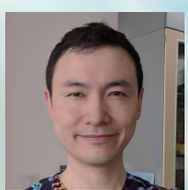
審査員紹介・サポート企業紹介 ―― 13:05〜13:10

アイデア部門 ファイナリストプレゼンテーション ―― 13:10〜14:20

（プレゼン6分・質疑応答6分）

P.03
Syrinx
竹内 雅樹氏

P.04
西新井
ハートセンター病院
重城 健太郎氏


P.05
COVIDVENTILATOR
PROJECT
石北 直之氏

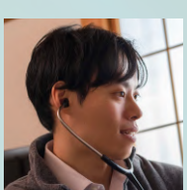
P.06
Tomocloud
小川 良磨氏

P.07
国際医療福祉大学
成田病院
瀧澤 玲央氏

休憩 15分

ビジネス部門 ファイナリストプレゼンテーション ―― 14:35〜16:10

（プレゼン8分・質疑応答6分）


P.09
ファストドクター
株式会社
菊池 亮氏

P.10
株式会社
フロンティア・フィールド
佐藤 康行氏

P.11
株式会社
OUI (OUI Inc.)
清水 映輔氏

P.12
株式会社
エナジーフロント
上田 剛慈氏

P.13
株式会社
Medii
山田 裕揮氏

P.14
株式会社
Magic Shield
下村 明司氏

休憩 10分

昨年度グランプリ受賞者経過報告 ―― 16:20〜16:40

カイテク株式会社 **武藤 高史氏** (10分)／CI Inc. **園田 正樹氏** (10分)

審査員パネルディスカッション（プレゼン講評） ―― 16:40〜17:20

株式会社メディヴァ代表取締役社長 **大石 佳能子** 氏
医師・デジタルハリウッド大学大学院特任教授・アイリス株式会社 共同創業 取締役副社長CSO **加藤 浩晃** 氏
TomyK Ltd.代表 **鎌田 富久** 氏
ライフタイムベンチャーズ代表パートナー **木村 亮介** 氏
モデレーター：弁護士法人漆間総合法律事務所 弁護士・弁理士・公認不正検査士 **吉澤 尚** 氏

休憩 15分

グランプリ発表・表彰式 ―― 17:35〜17:55

クロージング ―― 17:55〜18:00

応募団体 Syrinx

失われた声を取り戻すデバイス Syrinx

世界では毎年30万人以上ががんなどの理由で声を失っている。声を失った方々が従来使用してきたデバイスが、口パクで声を生成するEL(電気式人工喉頭)である。しかし、常に片手で喉にデバイスを押し当てなければならず、さらに生成される声も機械的でヒトの声からは遠く、日常生活での使用は避けられてきた。そこで、私たちが開発したのがSyrinxだ。従来のELの課題を解決するために、首に巻くハンズフリー型のウェアラブルデバイスで、ヒトに近い声を再現し、そして公共の場で使用しても悪目立ちしないスタイリッシュな意匠性を有している。Syrinxを必要としているユーザーに届けるための製品化を行い、声を失った人々が日常生活で何不自由なく話すことのできる社会を実現することを目指している。

登壇者プロフィール

氏名：竹内 雅樹

所属：東京大学工学系研究科
電気系工学専攻

役職：修士２年

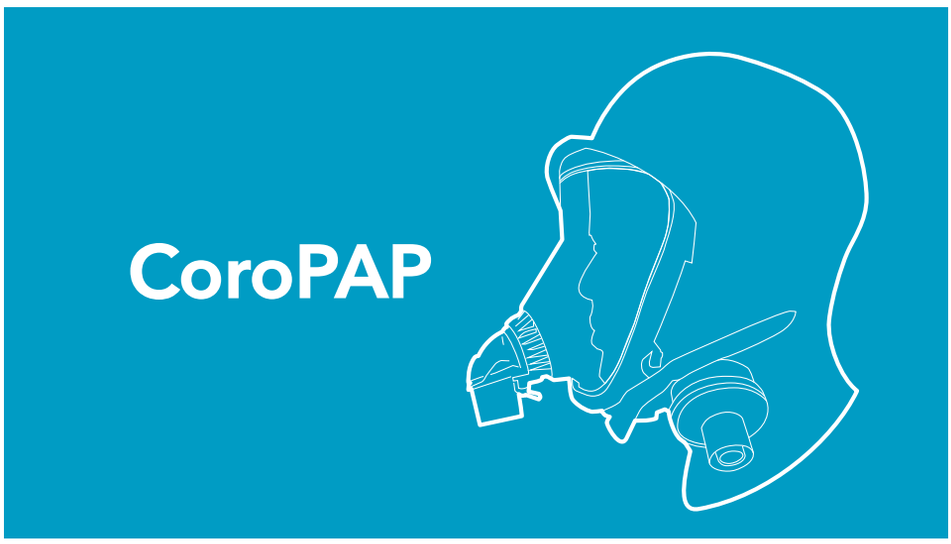
埼玉県所沢市および神奈川県横浜市出身。慶應義塾湘南藤沢高等部を卒業後、慶應義塾大学理工学部に入学し、ALS患者が失う前の声を使用できるようにするプロジェクト「マイボイス」の手伝いを行ったことで、音声および福祉工学に興味を持つ。大学卒業後は理化学研究所言語発達研究センターに約1年技術スタッフとして勤務。その後東京大学の修士課程に入学後、Syrinxプロジェクトを始めて現在に至る。

団体概要

2019年7月に、銀鈴会と呼ばれる喉頭摘出者のコミュニティに足を運んだことでスタートした学生プロジェクトである。2019年9月にTodai To TexasでSXSWの出展権を獲得した後、「Microsoft Imagine Cup 世界TOP3」「James Dyson Award 国際TOP20」「GUGEN2020　大賞」「WIRED Creative Hack Award ソニー賞」を受賞し、現在はユーザーテストを行うためのプロトタイプ開発に勤しんでいる。将来的には起業も検討している。

応募団体　西新井ハートセンター病院

ウィズコロナ時代でも陽圧呼吸療法ができるパーソナル陰圧マスク：CoroPAP



新型コロナウィルスの世界的な蔓延は、日本にもすでに第3波として押し寄せています。累計の感染者数は24万人を超え、わたしたちの生活を一変させました。そして、まさに医療崩壊が目の前に迫っています。死亡率の高い心不全患者さんの呼吸サポートには、陽圧換気療法(CPAP)が用いられていましたが、エアロゾルのリークのため新型コロナ疑い患者への使用が禁止されました。このため気管内挿管による呼吸サポートを余儀なくされ、患者さんと医療スタッフの危険性が高まっています。そこで頭部全体を覆ってしまうCoroPAPを提案します。CPAPと同等の陽圧効果が得られ、かつリークがないこのデバイスによって、患者さんの生命はもとより、医療スタッフのリスクを減らして医療崩壊を防ぎたい。これがわたくしたちの希望です。

CoroPAPの特徴

頭部を覆いエアロゾルを防止!

登壇者プロフィール

氏名：重城 健太郎

所属：西新井ハートセンター病院
役職：医師

2002年より医師として活動。4年間のアメリカ留学での基礎研究期間を経て、現在は循環器内科医として診療に従事している。その傍ら、SUNRISE labという循環器ドクターのコミュニティを主宰。これまでに留学生の支援をはじめとする多くのイベントを開催し、そのネットワークを広げている。ウィズコロナ時代に突入し、患者さんの治療対応にも、医師の在り方にも変化が必要だと感じ、今回のコンテストに応募。

団体概要

西新井ハートセンター病院には循環器内科と心臓血管外科があり、これまでに多くの循環器疾患の患者さんの治療に携わってきました。循環器疾患に特化したスタッフは専門性が高く、2016年に発表した論文は、現在の心不全治療ガイドラインにも引用されています。今回はアイディア満載のドクターのもと、臨床工学技士全員が一丸となってモノ作りを担当し、試行錯誤の末CoroPAPの試作機を作り上げました。一日でも早く全国の医療機関で使用可能となり、多くの患者さんと医療スタッフのメリットが増えればと考えております。

応募団体

COVIDVENTILATOR PROJECT

3D プリント可能な人工呼吸器の開発と普及を目指す「COVIDVENTILATOR PROJECT」

新型コロナ肺炎治療において、世界中で人工呼吸器の需要増と供給不足が顕在化し、今なお深刻化している。我々は、3Dプリントで製造可能な人工呼吸器の開発研究に2013年から取り組み、2017年には設計図データを宇宙へ転送し、宇宙空間での製造および動作実験に世界で唯一成功している。本プロジェクトでは、コア技術を公開し、世界中の3Dプリンタを活用することで、低廉かつ高機能な人工呼吸器の普及を目指した。幸い、経済産業省・AMEDの事業に採択され、開発研究を一気に加速させる事が出来た。

本年度内に国内承認される見通しが立ち、最大の利点である分散型製造を生かした国際展開を見据えている。Universal Health Coverageに寄与するよう、法的にも科学的にも根拠ある形での将来像を展望したい。

MicroVent® V3

？VENT & ?TUBE

登壇者プロフィール

氏名：石北 直之

所属：国立病院機構 新潟病院
臨床研究部
医療機器イノベーション研究室

役職：室長・医長

日々の診療で感じた不便を、シンプル・低コストな革新的アイディアで解消するため、2010年より研究開始。経済産業省／AMED　R2年度「ウイルス等感染症対策技術の開発」事業 代表研究者。

【主な発明】

- 超小型簡易吸入麻酔器（嗅ぎ注射器®）
- 空気圧駆動式人工呼吸器（MicroVent®）
- 聴診補助気泡緩衝材（CHO-SHIN UP!®）
- 喀痰吸引補助具（SPUTA VACUUMER™）

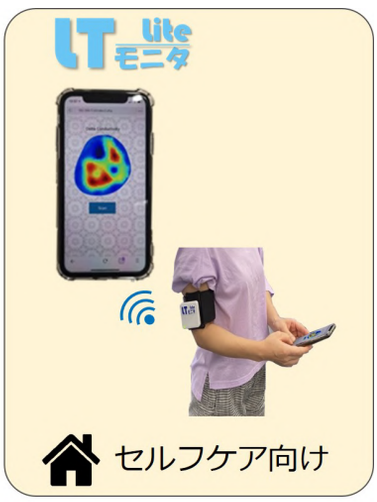
団体概要

国立病院機構新潟病院臨床研究部医療機器イノベーション室長の石北直之と広島大学トランスレーショナルリサーチセンター准教授の木阪智彦が中心となり、3Dプリンターで製造可能な人工呼吸器の研究成果を公開する目的で有志と立ち上げた共同研究プロジェクト。どの様な状況でも安定動作するだけでなく、製造が簡便、供給体制の整備、需給調整が容易であるメリットを持つこのデバイスを実用化することで『人工呼吸を必要とする患者が生命を維持できる』という、世界でいま最も求められている支援の達成を目指している。

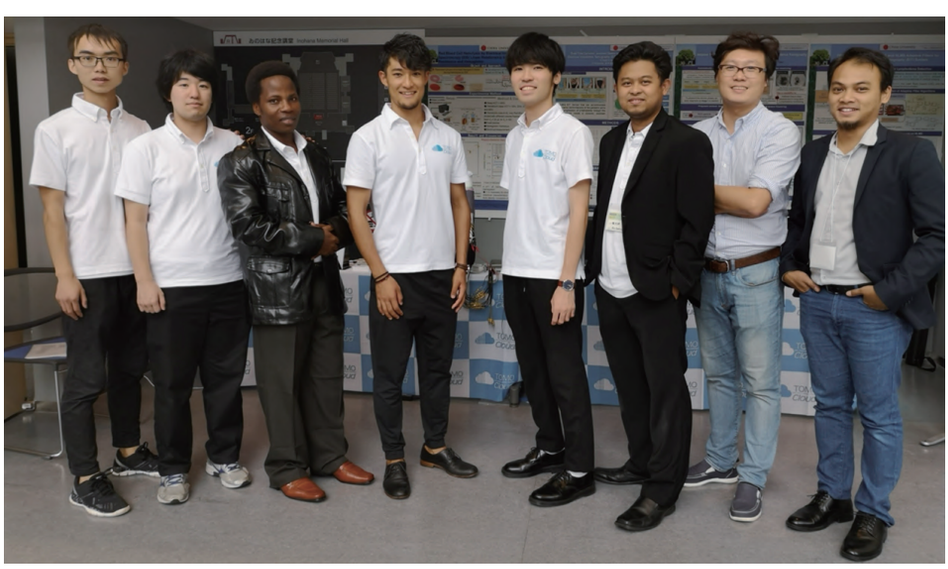
TOMOCLOUD

応募団体 **Tomocloud（千葉大学工学部武居研究室）**

ポータブル電気 CT スキャン「LT モニタ（リンパ浮腫トモグラフィックモニタ）」



リンパ浮腫は特定のがん手術後に発生しやすく、悪化すると完治が難しく、予防方法が未確立な疾患で、国内患者は約20万人。
診断は周径計測が主で、客観的な診断方法は存在しない。また、現在主流の予防策である弾性ストッキングは、一日中体に圧をかけ続ける生活を強いられるため、身体的負担が大きく、さらに、むくみによって身体イメージが崩れることや、認知度の低さも相まって患者のQOLは著しく低下する。
担当医師やリンパ浮腫患者の話を聞いていく中で、エンジニアとして強い使命感を感じ、我々のコア技術のEIT（電気インピーダンストモグラフィー）を用いて、リンパ浮腫早期発見や日々のモニタリングが出来ないかと考えた。「LTモニタ」を開発することで、がん発症後もすべての人が自分らしく生きることのできる社会を目指している。



登壇者プロフィール

氏名：小川 良磨

所属：千葉大学大学院
融合理工学府

役職：博士前期課程 1 年

栃木県宇都宮市出身。千葉大学工学部卒。機械系エンジニアとして、千葉大学リンパ浮腫研究会に参画。医療的アプローチを深く学ぶために、大学院を1年間休学し、トビタテ！留学JAPAN日本代表として、エディンバラ大学再生医療研究所に留学、研究に従事する。帰国後、「医療」と「工学」のコラボから生まれるイノベーションによって、リンパ浮腫患者の悩みを解決するべく、研究の社会実装に向けた道を歩み始めた。

団体概要

医学、看護学、工学、についてそれぞれに先駆的な研究開発を実践している千葉大学リンパ浮腫研究会より派生し、2018年にTomocloud発足。「リンパ浮腫に苦しむ乳がんや婦人科がんサバイバーのトータルペインを最新テクノロジーで解決する」をビジョンに掲げ活動。
2018年経済産業省NEDOの先進的IoTプロジェクト選考会議において審査員特別賞受賞、NEDO TCP（Technology Commercialization Program）2018において、ファイナリスト賞を受賞。

応募団体

国際医療福祉大学成田病院 血管外科

バイオミメティクスを応用した血管内留置カテーテルの開発

登壇者プロフィール

氏名：瀧澤 玲央

所属：国際医療福祉大学成田病院 血管外科

役職：医学部助教

2007年
東京慈恵会医科大学医学部 卒業
2020年7月
国際医療福祉大学成田病院
血管外科 病院助教

- 日本外科学会外科専門医
下肢静脈瘤血管内焼灼術指導医
- 日本脈管学会脈管専門医
腹部大動脈瘤ステントグラフト指導医
- 日本血管外科学会血管内治療医
胸部大動脈瘤ステントグラフト指導医

団体概要

国際医療福祉大学成田病院　血管外科は2020年４月に開院した最新の大学病院である国際医療福祉大学成田病院の血管外科部門として2020年に新設された新しい診療部門である。血管病の治療では、開胸や開腹のような従来の外科手術から、局所麻酔下でバルーンやステントで病変を治療する患者様の負担の少ない低侵襲な血管内治療まで、さまざまな治療を行っている。また、診療のみならず新規治療及び病体解明に対する研究開発も積極的に行っている。

バイオミメティクスとは邦訳で「生態模倣」と訳され、様々領域にて活用されてきた。近代ではさらに研究が進み構造解析からの様々な生態特徴が発見されている。
今回我々が着目したのは抗菌作用を有するバイオミメティクスである。特に我々が着目したのは昆虫のセミ翅の構造であるナノピラー構造である。ナノピラー構造は細かい柱状構造が六角形状に並ぶことで病原微生物（黄色ブドウ球菌、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌、緑膿菌、大腸菌など）に抗菌作用を有すると報告されており、病原性微生物の細胞膜を進展させ細胞を破壊することで抗菌作用を示すとされている。
このような生態模倣を利用した医療品の開発を行いたく考えている。具体的には点滴用留置サーフローや中心静脈カテーテルの構造を上記の抗菌性素材にて開発すること目的とする。

団体　クレインバスキュラー株式会社

氏名　梶山 愛　役職：代表取締役

血液透析患者の最頻トラブル「狭窄」を防ぐ新規デバイス

団体　DeepEyeVision 株式会社

氏名　髙橋 秀徳　役職：代表取締役

DeepEyeVision の「目からはじまる健康」

個人

氏名　依田 龍之介　所属：帝京大学 医療技術学部 視能矯正学科 4年

子供の視力を守る おうち de 眼科

個人

氏名　小林 利道　役職：フリーランス臨床工学技士

急変事前察知ワイヤレス呼吸数モニタリングシステム

団体　有限会社ユーマンネットワーク

氏名　運天 満

集束音波認知症治療装置の開発

個人

氏名　太田 圭亮　所属：釧路工業高等専門学校 電子情報システム工学専攻 1年

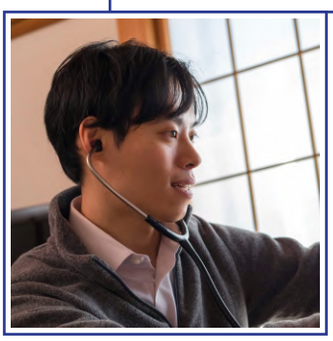
新しい生活家電 ～フレグランスコントローラー～

個人

氏名　牧野 結衣　所属：広尾学園高等学校

自分の健康は自分で守る！
一人ひとりが主役の医療実現のための情報共有アプリ「結」

Fast DOCTOR



応募団体

ファストドクター株式会社

2025 年を展望した地域医療体制 ～時間外救急プラットフォームの可能性～

高齢化で救急需要が高まる中、良質な救急医療体制の維持は喫緊の課題である。特に夜間休日の時間外においては、患者の多くは軽症である一方で、軽症患者の受け皿が不足しており、高度な医療を提供するための医療機関に患者が集中してしまう課題や、不急の患者が救急車を利用してしまう課題は、過去の総務省や厚労省の報告からも明らかである。ファストドクターは、こうした社会的課題を解決するために、365日体制の時間外救急プラットフォームを構築した。これまで夜間に通院困難な患者は救急車に頼らざるをえなかったが、ファストドクターの救急相談、救急オンライン診療、救急往診というソリューションにより患者の選択肢が多様化した。患者の選択肢の多様化は、受診行動を適正化し、救急医療全体の持続可能性を高めることに寄与すると考えている。

登壇者プロフィール

氏名：菊池 亮

所属：ファストドクター株式会社
役職：代表取締役　医師

2010年帝京大学医学部卒業。帝京大学医学部附属病院、関連病院にて整形外科に従事後、2016年にファストドクター株式会社を創業し代表取締役に就任。帝京大学医学部救急医学講座を兼務。日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、一般社団法人日本在宅救急医学会評議員。

団体概要

ファストドクター株式会社は、患者と医療機関をつなぐ時間外救急プラットフォーム「ファストドクター」を提供している。2040年に向けて高齢者人口が増加する都市部（東京・神奈川・千葉・埼玉・大阪・兵庫・京都・奈良）を中心に、救急相談・救急オンライン診療・救急往診・診療後のフォローアップといった、自宅に居ながら安心して診療が受けられる環境を実現し、通院が難しい患者の救急受診を支援している。さらに、地域の医療機関との連携で、かかりつけ医機能の強化や、患者のかかり方の適正化を推進している。

応募団体

株式会社フロンティア・フィールド

日病モバイル

株式会社フロンティア・フィールドは、2020年1月から医療機関専用スマートフォン「日病モバイル」の提供を開始しました。
日本は世界最多の病院を抱える医療大国である一方、病院内には業務の効率化や働き方改革の面で多くの課題があります。
日病モバイルは、セキュリティを担保しつつ、専用アプリで院内業務のDXを支援します。
日病モバイルの導入により、セキュアな環境下でのビデオ通話、モバイル端末からの電子カルテ利用、種々の意思決定のワークフロー化など、様々な面で従来の院内業務のあり方が変わります。
また病院には、現在の主な連絡手段であるPHSが2021年1月にサービスを終了するという問題もあります。
このPHSに代わる連絡手段としても、日病モバイルは医療従事者の業務をサポートします。

登壇者プロフィール

氏名：佐藤 康行

所属：株式会社フロンティア・フィールド

役職：代表取締役社長 / CEO

NTT入社後、NTT東日本などを経てNTTドコモに転籍。NTTドコモでは、横浜みなとみらい、仙台スマートシティプロジェクト、デンマークにおける医療系海外プロジェクトなどに携わる。その後、日本アルトマーク社に出向し、事業部長として医療情報提供ビジネスに従事。
49歳の時に、情報通信業界と医療業界双方の知見・経験を活かし、医療に役立てる事業を営みたいという思いから、フロンティア・フィールドを設立。

団体概要

株式会社フロンティア・フィールドは、「事業を通じ、世界の人々の健康寿命延伸に貢献する」をミッションに掲げ、医療機関向けに専用スマートフォンを提供する「日病モバイル」事業の他、病院内の携帯電話の電波が届かない場所に対して、一つのアンテナで全携帯電話事業者の電波を供給することができる屋内アンテナシェアリングシステム「日病アンテナ」事業を行っています。
また、「日病モバイル」「日病アンテナ」の普及に向け、国内有数の病院団体である日本病院会様と業務提携契約を締結しました。

応募団体

株式会社 OUI（OUI Inc.）

日本発・眼科診断 AI の開発による世界の失明と視覚障害の根絶

登壇者プロフィール

氏名：清水 映輔

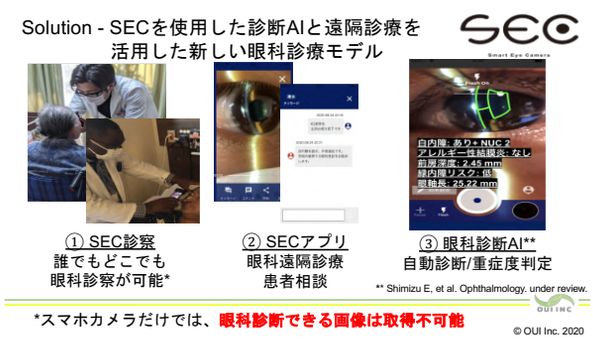
所属：株式会社 OUI
　　慶應義塾大学医学部眼科学教室
役職：代表取締役 / 特任講師

現役医師であり慶應義塾大学医学部発のベンチャー株式会社OUI(OUI　Inc.)を創業し代表取締役を務める。創業のきっかけは、NPO Fight for visionの国際医療協力プロジェクトで訪れたベトナム農村部のクリニックでの経験にある。現地には医師不足・医療機器不足により防げる失明を防げずにいる患者が多く存在しているという社会課題を解決したい想いからSECの発明に至る。

団体概要

OUI Inc. (株式会社OUI)は慶應義塾大学医学部眼科学教室の現役眼科医3名で起業した大学発ベンチャーである。2018年のプロジェクト始動以来、メディカルサイドの眼科医だけでなく、ビジネスサイドのメンバーや、エンジニアサイドのメンバーを揃え、15名以上のプロフェッショナルが専門知識を持ち寄り、「2025年までに世界の失明を半分に減らす」ビジョンを達成すべく、事業推進を行なっている。

失明と視覚障害が増加している、という世界的な社会課題に、日本発ベンチャーの発明で挑戦する。同課題の原因は眼科医と医療機器不足であり、我々はこれら原因の解決策としてSmartEyeCamera(SEC)を開発実用化した。SECは患者さんが医療機関を受診して眼科医が行う眼科診療を、場所や人を選ばず、安価に、簡便に可能とした発明である。さらにSEC撮影画像を元に開発した眼科診断AIを活用した遠隔眼科診断を提供する。国内および途上国でのパイロットを通じて、現場におけるユーザビリティの高さは実証済みであり、あらゆる患者が眼科医療にアクセスできる新しい医療モデルの構築、BigDataを通じて、新たな市場を切り開くことが可能となる。OUI　Inc.はSECを活用し2025年までに世界の失明を半分に減らす。



AUN
Action for UNiversal design

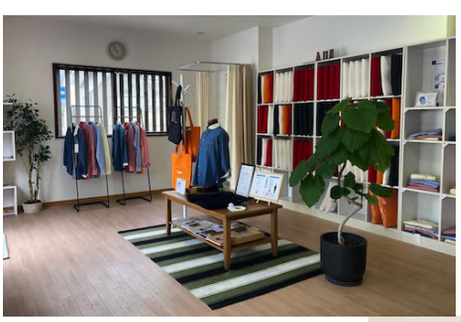
応募団体

株式会社エナジーフロント

介護のイメージを変えるユニバーサルデザイン

自分の親の介護の経験から、福祉用具の有効性を認識するとともに、日常生活に馴染まないデザインから残念な気持ちになることも実感した。申請者自身の物理学・化学研究者としての知見を生かし、地元岡山のジーンズや帆布の地域の力も生かして、快適性と機能性を両立した商品を作ることに取り組んでいる。

高齢者に多い転倒に伴う大腿骨頸部骨折のリスクを低減する「プラスパッドジーンズ」、高齢者や障害者を車椅子等に移乗する際の高機能リフトの役割を果たすクッション「リフティ・ピーヴォ」などが主力商品となっている。いずれも使いたくなる日用品に科学が見えない形で隠れており、介護される側の人権に配慮している。電力や機械を用いないので防災時にも役立つ。海外展示会でも高評価を得ており、世界に向けて発信していく取り組みを進めている。



登壇者プロフィール

氏名：上田 剛慈

所属：株式会社エナジーフロント
役職：代表取締役

岡山大学工学部卒業および修了(1998)、半導体洗浄装置メーカーに４年勤務後、転職し東大総合文化研究科にて研究員としてプロジェクトに参画、テラヘルツ超高感度検出器の研究で学位を取得(2009)。(株)アドバンテストにて国際マーケティングを経験後、2012年に(株)エナジーフロントを設立。様々な立場や技術分野を学んだ経験を生かし、チーム連携型のソーシャルビジネスの実現に取り組んでいる。

団体概要

社会問題を継続可能なビジネスで解決することを目指して2012年に設立。再生可能エネルギーが社名の由来だが、現在では広い分野において産学連携や地域連携でソーシャルビジネスを生み出すことに取り組んでいる。市場と技術の動向から企画立案すること、異なる立場の人や組織をつなぐこと、特許等を生み出すことで、有効にビジネスを進めることを得意としている。AUN（あうん，Action for UNiversal design）はその中で生まれた活動であり、地域産業への寄与への思いも背景に持って進めている。

Medii

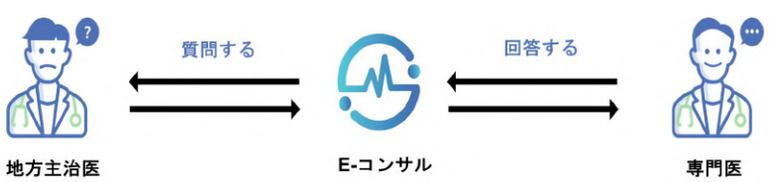
応募団体

株式会社 Medii

地域医療の「専門医偏在問題」の解決を図る専門医リソースシェア『E- コンサル ®』

あらゆる医療が細分化する中、全ての医療機関に全ての専門医を配置することは可能だろうか?ましてや専門医不足が顕著な地域医療では?株式会社Mediiが提供する「E-コンサル®」は、都市部の大規模病院などで働く専門的な知見をもつ医師と、専門医が在籍していない地方の病院の医師をオンラインでつなぎ、どこにいても専門的な医療を提供できるようにするサービスだ。

現在はリウマチ膠原病内科医や感染症内科医など国内に僅かしかいない専門医中心のプラットフォームを作り、院外専門医コンサルティングを実施している。医師による完全紹介性/承認制の信頼できるクラウドホスピタルとして機能し、地域医療を救うべく集まった400名以上の専門医がMediiに参画している。



院内不在の専門医に質問したい
より良い質の医療を提供したい
⇩
どの現場でも
院外コンサルが可能

専門医シェアリング
プラットフォーム上で
情報が交換・蓄積される

専門医だからこその知見で
患者の専門的コンサルに回答

登壇者プロフィール

氏名：山田 裕揮

所属：株式会社 Medii
役職：代表取締役医師

和歌山県出身。自身が厚労省特定難病疾患を持つ患者であり、リウマチ膠原病専門医。自身が医学生の時に地元に専門医が不在のため患者として地域医療の課題を痛感する。堺市立総合医療センターで初期研修時に奄美大島で離島医療を体験。その後聖路加国際病院、慶應義塾大学病院を経て自分一人では全ての地域の患者さんを救えないことから、仕組みから地域医療現場を変えることを志し株式会社Mediiを創業。

団体概要

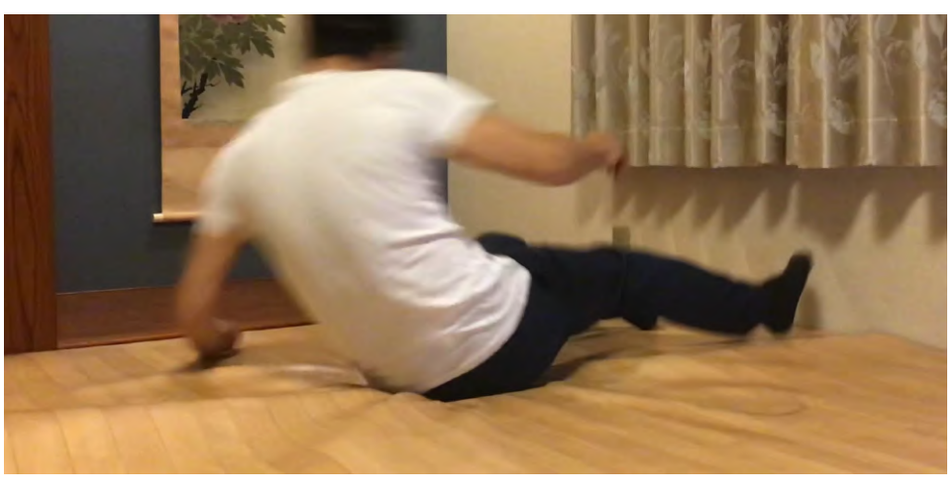
Mediiはラテン語で"真ん中"を意味するMediusの複数形で”本質”を意味し、地方と都市部で広がる専門医の偏在問題を解消することを目指している。代表自身が指定難病を乗り越えた当事者の医師が呼びかけているからこそ、大きな課題解決に向けMedii一丸となり、過去誰もが解決できてこなかった地域医療の課題への挑戦を諦めることなく続けていく。ICCサミット KYOTO 2020「スタートアップ・カタパルト」優勝。慶應医療健康ベンチャー大賞2020準優勝。

応募団体

株式会社 Magic Shields

高齢者の転倒による骨折を防ぐ、転んだときだけ柔らかい置き床「ころやわ」

高齢者の転倒による骨折は、毎年100万人に発生しており、2000年以降2倍に急増している。転倒・骨折は介護状態になる大きな原因のひとつであり、またこれによる医療費・介護費についても膨大で、大腿骨骨折だけでも毎年2兆円使われている。
そこで弊社では、歩いている時は硬く転びにくく、杖や車椅子も使えるが、一方で転んだときには凹んで衝撃を半減する、置き床を提供している。
この衝撃吸収性や歩行安定性は医工学的に確認済みで、これまで30回以上の転倒があるが、打撲や骨折は0である。
今後、この床を医療・介護施設や、高齢者の家庭に普及させていく。
また海外へも普及させていく。



登壇者プロフィール

氏名：下村 明司

所属：株式会社 Magic Shields
役職：代表取締役

ヤマハ発動機にて14年間に渡り、バイクの設計・開発・プロジェクトチーフやデザイン部での新規事業開発を行う。またプライベートでも多数の発明活動を行う。
祖母や友人を転倒で失ったことや、災害やテロをきっかけに世界から怪我を無くすことを志し、2019年株式会社 Magic Shieldsを創業。
ロボット工学修士、MBA（グロービス経営大学院）

団体概要

株式会社 Magic Shields
元ヤマハ発動機のエンジニアと理学療法士など、グロービスMBAのチームで2019年11月に創業。
世界から事故や暴力による怪我を無くすことを志し、まずは世界の高齢者の転倒による骨折を0にすることを目指す。

団体　**Holoeyes 株式会社**

氏名　**谷口 直嗣**　役職：代表取締役

"体感を伴う XR 体験" が医療を変える 医療 VR サービス「Holoeyes MD」

所属　**株式会社シルバコンパス**

氏名　**井本 健太郎**　役職：取締役

誤配を防ぎ安心して薬剤ピッキングができる ピッキング支援システムで薬局業務改善を。

団体　**株式会社 ORANGE kitchen**

氏名　**若子 みな美**　役職：代表取締役 / 管理栄養士

寄り添いを重視したオンライン × 人工透析予防特化型 重症化予防プログラム「しおみる」

団体　**株式会社 Opening Line**

氏名　**佐々木 亮一**　役職：代表取締役

3 Step Wallet「買い物で社会とつながる」

アイデアコンテスト 部門

医師
デジタルハリウッド大学大学院
特任教授
アイリス株式会社
共同創業・取締役副社長CSO
加藤 浩晃 氏

TomyK Ltd.
代表
鎌田 富久 氏

株式会社シルバーウッド
代表取締役
下河原 忠道 氏

株式会社 AI Samurai
代表取締役社長
白坂 一 氏

フリーランス・
ジャーナリスト
西村 由美子 氏

カイテク株式会社
代表取締役
※JHeC2020
アイディアコンテスト部門グランプリ
武藤 高史 氏

ビジネスコンテスト 部門

MEDIVA
Medical Innovation and Value-Added

株式会社メディヴァ
代表取締役社長
大石 佳能子 氏

dhu graduate school

医師
デジタルハリウッド大学大学院
特任教授
アイリス株式会社
共同創業・取締役副社長CSO
加藤 浩晃 氏

Lifetime Ventures

ライフタイムベンチャーズ
代表パートナー
木村 亮介 氏

JIC
VENTURE GROWTH INVESTMENTS

JICベンチャー・グロース・
インベストメンツ株式会社
プリンシパル
辻川 大 氏

EY
Building a better working world

EY新日本有限責任監査法人
シニアパートナー
藤原 選 氏

守屋実事務所

株式会社守屋実事務所
代表取締役
守屋 実 氏

あずかるこちゃん
病児保育支援システム

CI Inc.
代表取締役
※JHeC2020
ビジネスコンテスト部門グランプリ
園田 正樹 氏

サポート団体

IBM blue hub

アクサ生命

KPMG あずさ監査法人

astellas

渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 Atsumi & Sakai

HABITATION

Aflac

Amateras

ALLION® AIoT EXPERT

anri

株式会社 イーウェル Ewel

EY Building a better working world

AEON MALL

informa markets

サポート団体

ウェルネスバレー

JAXA

UBE

エア・ウォーター
地球の恵みを、社会の望みに。

8∞ EIGHT ROADS™

Eisai

いっしょに、明日のこと。
Share the Future
SMBC日興証券

SMBC
SMBCベンチャーキャピタル

NEC
NECソリューションイノベータ

NTT docomo

大阪ガス
Daigas Group
大阪ガスグループは、Daigasグループへ。

O.B.D.A.

Otsuka

「沖縄の産業界と研究機関の橋渡し」
これが沖縄TLOの役割であり、使命です。

ono 小野薬品

サポート団体

OLYMPUS

KAIGO LIFE

KANAGAWA 神奈川県

KYOCERA

ASTEM

KIRIN

globizz FDAコンサルティング
ロサンゼルス・サンフランシスコ・テキサス
東京・大阪・神戸

KII
KEIO INNOVATION INITIATIVE

KDDI

Kowa

Co-STUDIO

Code DynamiX

国立研究開発法人
国立がん研究センター
National Cancer Center Japan

国立循環器病研究センター
National Cerebral and Cardiovascular Center

KONICA MINOLTA

サポート団体

小林製薬株式会社

さつきアドバイザリー株式会社

GCA HEALTHCARE

JMDC

島根県 shimane prefecture

CMIC Pharmaceutical Value Creator

JMPR Japan Medical Start up Incubation Program

JAFCO

JOHNAN to accelerate your business

Johnson & Johnson JOHNSON & JOHNSON K.K. MEDICAL COMPANY

SUZUKI

あなたの未来を強くする 住友生命

salesforce

0→1Booster

ZENKOUKAI social welfare corporation

サポート団体

SENDAI FWBC
SENDAI-FINLAND Wellbeing Center

Partner in Healthcare
センチュリーメディカル株式会社

sojitz
New way, New value

Sociotank

SOMPO
ホールディングス
安心・安全・健康のテーマパーク

一生涯のパートナー
第一生命
Dai-ichi Life Group

DAIDO
大同生命

高石市健幸のまちづくり協議会

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA

田辺三菱製薬

TNP
TECHNOLOGY NETWORK PLATFORM

DBJ
DBJキャピタル株式会社
日本政策投資銀行グループ

TEIJIN
Human Chemistry, Human Solutions

DEFTA PARTNERS

TERUMO

サポート団体

Deloitte.
デロイト トーマツ

EMBASSY OF DENMARK

国立大学法人
東京医科歯科大学
TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY

TOKIO MARINE
NICHIDO
東京海上日動

東京海上ホールディングス
株式会社

TOHOKU UNIVERSITY
東北大学
TOHOKU UNIVERSITY

TOYOTA

新潟ベンチャーキャピタル
NIIGATA VENTURE CAPITAL

NICORIO

NS Solutions
NIPPON STEEL

JOMDD
MEDICAL INNOVATION

HGPI
Health and Global Policy Institute

JAL
JAPAN AIRLINES

JSSA
一般社団法人
日本スタートアップ支援協会

NISSAY
日本生命

サポート団体

JSPA

JAPAN biodesign

NRI 野村総合研究所 Nomura Research Institute

野村不動産ホールディングス株式会社

NHS&A Nomura Healthcare Co.,Ltd.

・HAKUHODO・

NTT東日本

HITACHI Inspire the Next

HULIC

Future Venture Capital

PREMO PARTNERS

株式会社ホオバル

MACNICA

MATSUNAGA

松本地域健康産業推進協議会

サポート団体

MIZUHO

MS&AD
三井住友海上あいおい生命

SMFL 三井住友ファイナンス&リース
Sumitomo Mitsui Finance and Leasing

MITSUI & CO.

MUFG
三菱UFJ銀行

MUFG
三菱UFJキャピタル

明治安田生命

MetLife
メットライフ生命

MEDIVA
Medical Innovation and Value-Added

民間医局
株式会社 メディカル・プリンシプル社

MedVenture
Partners

株式会社メプラジャパン
MEPLA

ucb ユーシービージャパン株式会社

Unicorn

LIP.横浜
Life Innovation Platform YOKOHAMA

サポート団体

株式会社よんやく

LINK-J
Life Science Innovation Network Japan

RICOH

Lyst

NEVER SAY NEVER
ロート製薬

三菱UFJリース

連携イベント

WOMB Business Incubator

2021年2月27日 17:00-18:30
Zoom

ウェルネスバレー版 アイデアボックス活動 2020

随時
愛知県大府市・東浦町

HVC KYOTO 2021

2020年7月2日 9:30～（予定）
京都リサーチパーク（オンライン配信）

第8回 MUFGビジネスサポート・プログラム Rise Up Festa

2021年7月 最終審査会開催
（応募期限：2021年2月10日）
東京（オンラインでの配信を予定）

J-Startup Hour

毎週木曜日 18:00～19:00
虎ノ門ヒルズビジネスタワー

シニアライフ・イノベーション・チャレンジ

2021年2月26日 15:00～18:30
最終審査（公開ピッチイベント）オンライン開催

ジャパン・ヘルスケア ベンチャーサミット 2020

2020年10月14日～10月16日
パシフィコ横浜

01Booster Conference

2020年12月3日
オンライン開催

ZENTECH DOJO Nihonbashi

通年開催
日本橋

日経クロスヘルス EXPO

2021年10月
オンライン開催（予定）

BioJapan 2021

2021年10月13日～15日
パシフィコ横浜

healthTECH JAPAN 2021

2021年10月13日～15日
パシフィコ横浜

連携イベント

従来の概念が覆る?!臨床プロテオミクスの最新事情
～ Beyond Mass Spectrometry ～
2021年2月1日
オンライン開催

ヘルスケア IT 2021
2021年1月27日～29日
東京ビッグサイト西4ホール

Healthtech/SUM
ヘルスケア・テクノロジー・サミット
Healthcare Technology Summit
2020年12月9日～10日（2021年12月予定）
日本橋三井ホール、ライフサイエンスハブ（予定）

MED-TECH GRAND PRIX

第３回メドテックグランプリ KOBE

Colette Times
ウェブマガジン

Turnkey Lab
～実験機器付レンタルラボ ～
京都リサーチパーク内 / 運営中
大阪健都 / 2022年春開業予定

協力団体

MEDISO
Medical Innovation Support Office

厚生労働省

厚生労働省では、医薬品・医療機器・再生医療等製品の実用化を目指すベンチャーを支援する相談事業（MEDISO）やマッチング機会を提供するジャパン・ヘルスケアベンチャー・サミットなど、医療系ベンチャーを育てるエコシステム確立のための施策に取り組んでいます。

CaiTech

カイテク株式会社

介護ワークシェアリング「カイスケ」が、JHeCがキッカケに資金調達が成功。さらには、知名度向上によりサービス展開スピードが加速。

代表取締役 **武藤 高史**氏（中央・左）

弊社は、「テクノロジーで介護医療現場の笑顔を1つでも増やす。」というMISSIONのもと事業運営をしています。深刻な国家課題でもある介護人材不足問題の解決に向けて、介護ワークシェアリング「カイスケ」を展開しています。本コンテストの選考時は、サービスのリリースもしておらず「アイデア」しかありませんでした。本コンテストの中で多くの関係者の方々からご指導を頂き、ブラッシュアップをかけていき最終的に「グランプリ」を受賞しました。関係者の方々には感謝の念に堪えません。本受賞によって知名度が上がり、シードでの資金調達に成功できました。さらには、事業拡大の強い後押しにもなり、関東、名古屋を中心にサービス展開に邁進しているところです(スタートアップにとってJheCは非常に強い味方です)。Jhecに参加されているスタートアップ、企業、団体の方々の交流が盛んになり、ヘルスケアビジネスの革新を願っております。

※JHeC2019から「ビジネスコンテスト部門」「アイデアコンテスト部門」の2部門で開催しています。

あずかるこちゃん
病児保育支援システム

Connected Industries 株式会社

病児保育支援システム「あずかるこちゃん」が全国各地へ展開中。JHeCが自治体導入へのきっかけに。

代表取締役 園田正樹氏（中央・左）

弊社は「安心して産み育てられる社会の実現」を目指し、保護者と病児保育施設をつなぐ、病児保育支援システム「あずかるこちゃん」を開発しています。
核家族や共働き世帯が増える中、子どもの急病時に一時保育を行う病児保育には高いニーズがあります。しかし「使いづらい仕組み」や「認知不足」から、利用率が低迷しています。当サービスはスマホから病児保育施設を簡単に検索・予約できることで、アクセスを容易にします。

弊社はJHeC2020にて、グランプリを受賞しました。受賞によりサービスの認知度が上がり、さらに、自治体など関係者からの信頼が向上し、本コンテストの参加者からの紹介で自治体導入に至るなど、販路開拓にも大きな影響がありました。
今年も社会課題の解決に向けて熱い想いと行動力で活動している個人・企業が出場されると思います。JHeCにより、新たなつながりが生まれ、事業が加速することを心より願っています。

archive

JHeC2019 グランプリ受賞企業：株式会社カケハシ
JHeC2018 グランプリ受賞企業：株式会社 mediVR
JHeC2017 グランプリ受賞企業：トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社
JHeC2016 グランプリ受賞企業：MRT 株式会社

InnoHub
Healthcare Innovation Hub

Healthcare Innovation Hub（通称：InnoHub）は、2019年7月に設立された、ヘルスケアおよびライフサイエンスの分野に関連する、企業や団体、創業前の個人等からの相談をワンストップで受け付ける相談窓口です。

InnoHubで受け付ける相談内容は幅広く、資金調達（補助金・助成金を含む）や人材確保、実証実験の実施、営業販路拡大、海外展開など多岐に渡ります。また、相談内容に応じて、同分野でベンチャー企業等の支援を行っている個人である「InnoHubアドバイザー」や、事業会社・団体等である「InnoHubサポーター団体」の紹介を受けることが可能です。同時に、ヘルスケア関連のイベント等と連携し関連情報提供も行い、多面的な支援を提供することでヘルスケア・ライフサイエンス分野のエコシステム構築を目指しています。

InnoHubでは、ベンチャー　企業等の相談者に対して支援を行う「InnoHubサポーター　団体　」を随時募集しています。　InnoHubサポーター団体は、InnoHubやInnoHubアドバイザーを介して相談者とのマッチング機会を得ることが可能です。加えて、他のInnoHubサポーター団体やInnoHubアドバイザーとのネットワーク構築や、ヘルスケア関連のイベント情報を提供いたします。

【お問い合わせ先】
Healthcare Innovation Hub
（運営受託者：株式会社日本総合研究所）

Website：https://healthcare-innohub.go.jp/
E-mail：200010-meti_innohub@ml.jri.co.jp
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 2-3-11　日本橋ライフサイエンスビルディング 4 階 407 号室

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

InnoHub
Healthcare Innovation Hub